

2 階病棟の紹介

～地域包括ケア病棟～

2 階病棟 = 『地域包括ケア病棟』

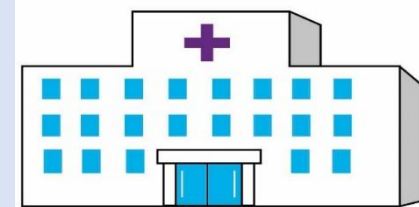
「地域包括ケア病棟」とは？

- ①急性期治療(点滴・処置など)を終えた患者様の受け入れ
- ②自宅や介護施設等からの緊急時受け入れ
- ③在宅・生活復帰支援
- ④レスパイト入院

などを担っています。

(レスパイト入院：自宅で一時的に介護できなくなった時、介護者の入院管理が必要となった方などを対象として短期間入院し、ご家族が休息していただくことを言います)

* 入院期間：原則**60日以内**と定められています。



『地域包括ケア病棟』では どんなことをしているの？

生活の場へ退院できるように医師、看護師、薬剤師
リハビリ担当者、在宅復帰支援担当者、栄養士など
多職種が連携を取りながら、治療や支援を行っています。

地域包括ケア病棟の特徴

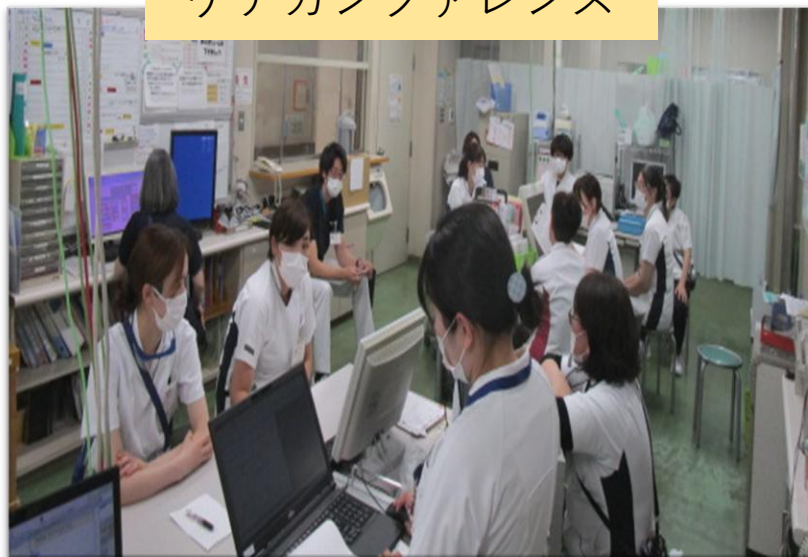
色々な『カンファレンス』を積極的行なっています！

退院支援カンファレンス



看護師、地域連携担当で患者様の今後について話し合います。

ケアカンファレンス



日々の患者様のケアの方法など何が良いか看護師、看護助手、介護福祉士、リハビリと話し合います。

整形外科、内科医と
リハビリカンファレンス



主治医と看護師、担当リハビリで現在の状況の確認、退院までの時期や方針について話し合います。

地域包括ケア病棟の特徴

『退院支援』に力を入れています！

自宅訪問の様子



入院直後から、院内・院外の多職種で連携を図り、患者様・ご家族様のニーズに沿った退院支援となるよう、取り組んでいます。



退院後に住み慣れた環境で安心して生活をして頂くために、必要に応じて、退院前・退院後の自宅訪問を行なっています。

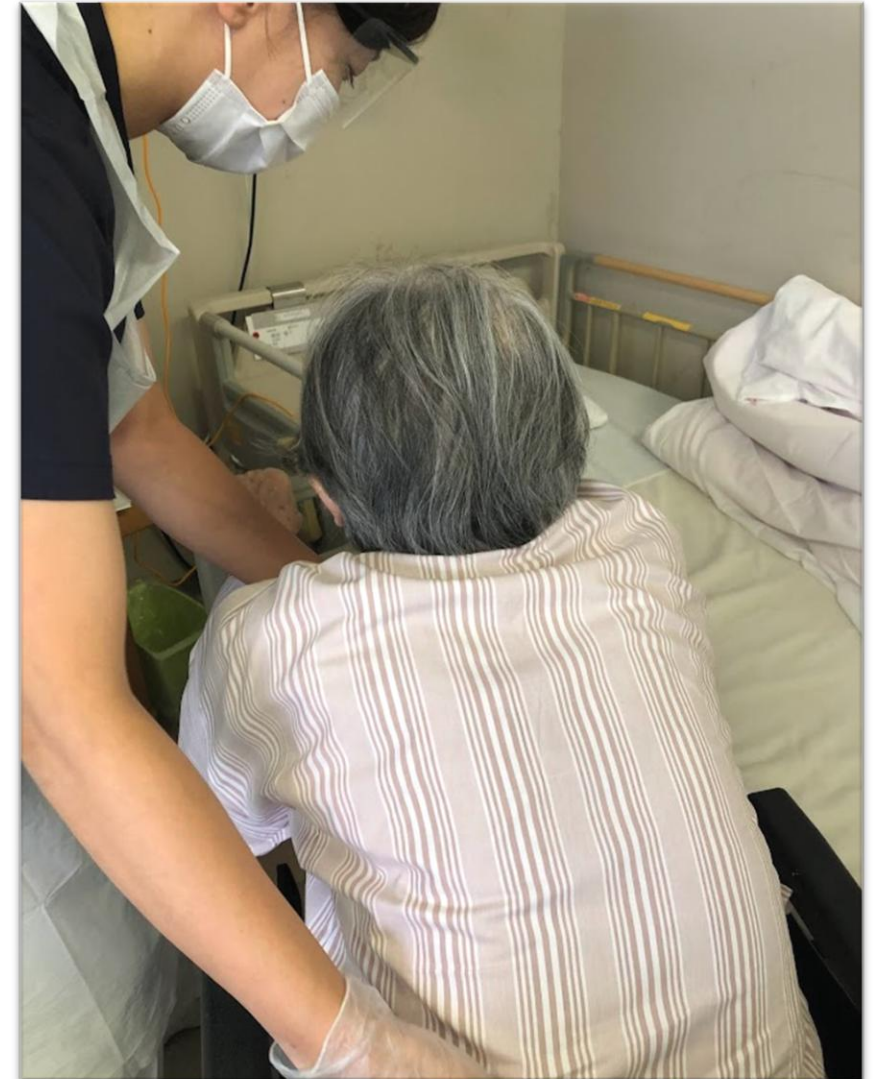
地域包括ケア病棟の特徴

病棟に「専従リハビリセラピスト」がいます

患者様が住み慣れた環境で、
生活が送れるように
お手伝いしていきます！
頑張ります！



病棟リハビリの様子



患者様のペースに合わせ
退院に向け、病棟でもリハビリを行なっています。

『薬剤師』 『栄養士』 との連携

薬剤師



持参された薬の管理や、
退院されてからの薬剤管理、
内服の用法、容量について
薬剤指導を行っています。

安定した食事摂取ができる
ように嗜好調査を行ったり、
退院されてからの食事
について栄養指導を行っています。

栄養士



日常生活におけるケア充実への取り組み

『介護福祉士』も欠かせません！日常生活に関わる様々なケアに対して専門的な知識と技術を持ちあわせ即戦力として発揮しています。

食事介助



介護
福祉士

入浴介助



おむつ選定



2 階病棟スタッフの様子

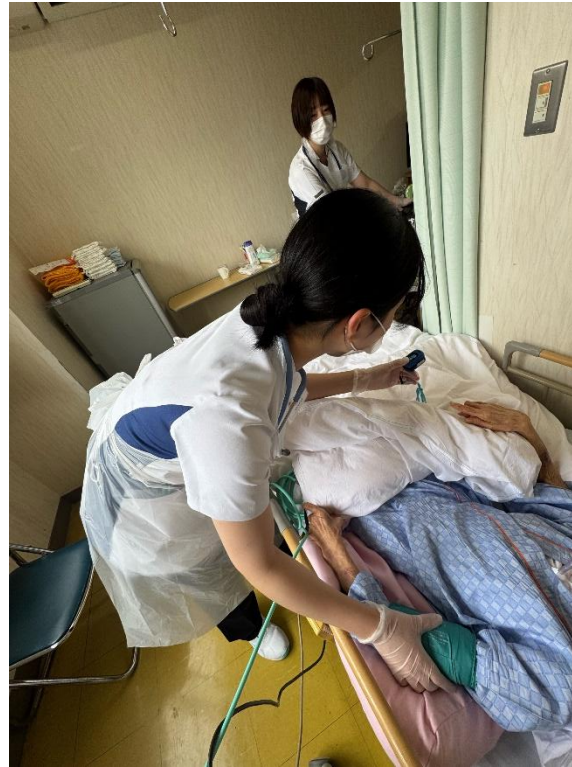
情報を共有し、声を掛け合い
確認しながら行います。



スタッフ間でカンファレンスを行い
情報共有、ケアの統一を行います。



看護師 2 人ペアで患者さんの
観察や処置を行います。



レクリエーションしたり☆

新メンバー紹介

新人看護師には支援者がつきフォローを行います。大切なことを伝え、疑問点はその時に解決するなど切磋琢磨しながら業務に取り組んでいます。



2 階病棟スタッフから

～最後に 2 階病棟の自慢をさせてください～

「自部署自慢！」で出た 2 階病棟スタッフからの声です。

他職種との関わりや
連携が深い。



みんなで実践してみよう！
と思ったら同じ方向を
向いて実践できる。



患者様から
『スタッフ皆さんが親
切で安心できる病棟』
だと
言ってもらえた。

声を掛け合い協力でき、
チーム力が高く、何でも
カバーしあえる。



悩んでいても相談しやすい
雰囲気です。困った時は、助け合い、
アドバイスをもらえる。

入院から退院まで
患者様・ご家族様を
しっかりとサポートして
いきます！！



2階病棟では、
『看護師』『介護福祉士』
『看護補助者』『リハビリ』
『地域連携担当者』『事務員』
と多職種が働いています



師長さんと副師長さん



(ビックリマンチョコ風チャットGPTより)